

第 182 号 2015 年 1 月 10 日 年 4 回 1·4·7·10 月の 10 日発行

1部 500円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

http://www.jic-web.co.jp

東京オフィス:〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F TEL:03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪・ロシア留学デスク: 〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町 2-13 ワキタ天満橋ビル 812 号 TEL:06-6944-2341

シー はずみのジェーニー

あけましておめでとうございます 本年も JIC をよろしくお願いします!!

C f 1085 [M 2015 - M [0 [0 M]]

国際交流



クリスマスカード(モスクワのパートナーより)

JICでは、Jクラブ(JIC友の会)会員を募集しています。 年4回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

JICスタッフより新年のご挨拶

ZOIS

謹賀新年 2015 Happy New Year!

本年もJIC 国際親善交流センターおよびジェーアイシー旅行センターをよろしくお願い申し上げます。 *1月号は恒例のスタッフ新年あいさつです。

平和を支える旅行業・観光産業

伏田 昌義

あけましておめでとうございます。

昨年 12 月初めに日本経済新聞がまとめた「2014 年ヒット商品番付」では、東の横綱に『訪日外国人によるインバウンド消費』が選ばれ、西の横綱には子どもたちに大ブームを巻き起こした『妖怪ウォッチ』が入りました。確かに、京都や鎌倉などの観光地だけでなく日本各地で外国人旅行者の姿が目立つようになりましたし、新聞やテレビでも訪日客の旺盛な購買意欲が地方経済を元気づけているといった報道がよくなされるようになりました。

インバウンド(訪日旅行)客の急拡大

旅行業関係者が選んだ2014年のニュースランキングでは、 『訪日客1300万人へ急増』をトップに、『政府、訪日客20年2000万人の目標明示』(2位)、『東南アジア向けビザ緩和』(4位)、『旅行収支44年ぶりに黒字』(7位)など、トップ10のうち訪日旅行(インバウンド)関係が6項目を占めています(トラベルジャーナル誌14年12月22日号)。

昨年は日本で海外渡航が自由化されてから 50 年の節目の年だったのですが、これまで海外旅行(アウトバウンド)中心だった旅行業界は、ここに来てインバウンドの急拡大へと、大きな転換期を迎えているように見えます。アベノミクスによる円安誘導によって、この2年間で円相場が1ドル=80円台から110円台へと大幅に下落したことがアウトバウンドの伸び悩みとインバウンド拡大の要因となっています。

ジェーアイシー旅行センター(株)の旅行業務においても、 今やインバウンドの取扱量はアウトバウンドとほぼ同じ比重 を占めるに至っています。

しかしながら、悩ましいことに JIC が専門としているのはロシア・旧ソ連諸国です。昨年 2 月のソチ冬季オリンピックの成功でロシアへの好印象が広がりかけたのも束の間、ウクライナの政変とロシアによるクリミア併合、東部ウクライナでの内戦拡大によって、ロシアのイメージはすっかり「悪役」になってしまいました。欧米諸国との「制裁合戦」に加えて、原油

安による通貨ルーブルの大幅下落がロシア経済に打撃を与えています。インバウンドに関して言えば、円安の効果がルーブル安で打ち消され、さらにロシア国内景気の後退によって、今後もしばらくは大幅増が見込めない状態です。

ここはアウトバウンドもインバウンドも、じっと『我慢の子』。 現在の旅行交流レベルを粘り強く維持し続けることが大事 だと思っています。

「米口新冷戦」の行方は?

それにしても、クリミアを併合したロシアはこれを決して手放そうとしないでしょうし、EU(欧州連合)やアメリカは、ロシアの勢力範囲であったウクライナを「西側」に引き込む動きを止めないでしょう。ロシアにはロシアの言い分があり、欧米には欧米の言い分があります。その意味で、ウクライナを巡る「米ロ新冷戦」は今後も長く尾を引くだろうと思われます。

とはいえ、ロシアと EU との間には天然ガスをはじめ年間 4000 億ドルを超える貿易取引があります。アメリカも、「イスラム国」の勢力拡大で不安定化する中東地域の平和と安全を考えると、この地域に一定の影響力を持つロシアと喧嘩ばかりしているわけにもいきません。かつての米ソ冷戦時代と異なり、今日のロシア経済は世界経済に深く組み込まれていますし、中国を筆頭とする新興国の台頭によって国際関係はずっと複雑化しています。

プーチン大統領は、欧米による対露制裁を受けて、昨年 5 月に中国との間で天然ガスの長期販売契約を結びました。 プーチンのロシアは、中国、インド、ブラジルなど新興国との 経済関係を強化することで、アメリカ中心の世界経済構造を 長期的に組み換えていく方向を模索しているようです。

米ソ冷戦が25年前(1989年)に終わり、ソ連崩壊後に現出した「アメリカー極支配」は、EU の経済統合の進展、GDP(国内総生産)世界2位に躍り出た中国の大国化、イラク、アフガニスタンでの不正義の戦争と2008年金融危機によるアメリカの権威失墜などにより終焉を迎えました。今日、世界は新たな国際秩序を見いだせないまま迷走する「Gゼロ」時代へと移り変わっています。

おそらく、世界はこれからもしばらくは対立と衝突を繰り返

しつつ、新しい国際秩序を模索し続けるのでしょう。その時 大事なのは、小さな対立や衝突を決定的な大きな衝突に拡 大しない努力です。欧米とロシアが、ウクライナをめぐって互 いに非難の応酬を繰り返しつつも、ともかくも関係を維持し、 話し合いと交渉によって着地点を見出そうと努力しているこ とは、まだわずかながらも希望を感じさせます。

第二次世界大戦終結 70 年

今年は第二次大戦で日本とドイツが敗戦を迎えてから 70 年にあたります。

日本が第二次大戦で戦った相手はアメリカだけではありません。アメリカ、イギリス、中国、ソ連に代表される連合国と戦って日本は敗北したのです。

第二次大戦後の国際関係の基本は、日本の場合、対日戦に関係した 48 カ国との間で締結されたサンフランシスコ講和条約(1951 年)、およびこの講和条約に署名しなかった当時のソ連との間で交わされた日ソ共同宣言(1956年)、日韓基本条約(1965 年)、日中平和友好条約(1978 年)などによって規定されています。

いずれもその基礎には、かつての日本が植民地支配と侵略戦争によってアジア諸国に甚大な被害を与え、連合国と戦ったあげくに無条件降伏したという事実があります。敗戦を「終戦」、侵略を「進出」と言い換えて過去の真実から目をそむけたい政治家や官僚がこの国には多数いますが、一歩国の外に出れば、私たちはこの事実から逃れることはできません。この点では、アメリカとロシア、中国はまったく同じ立場に立っており、第二次大戦後の国際秩序は、さまざまな「ゆらぎ」を経験しつつも、基本のところではまだ確固として命脈を保っています。

それにしても戦後 70 年、同じように廃墟の中から国の再建に取り組んだドイツと日本で、なぜこんなに違ってしまったのでしょうか。ドイツとの大きな違いは近隣諸国との関係です。ドイツはナチズムの痛烈な反省に立って戦後の現実を受け入れるところから外交関係をスタートさせました。「宿敵」フランスとの融和を軸に EU(欧州連合)の中心を担い、かつて被害を与えた周辺国との関係を深化させています。ドイツは今やイランの核問題やウクライナ紛争の打開など、国際政治の舞台でも存在感を高めています。

それに対し日本は、中国、韓国という重要な隣国との間で、経済関係は拡大したものの、政治外交関係ではギクシャクし続けています。

いわゆる歴史認識の食い違いは、突き詰めれば、日本の 対外侵略の事実とその結果としての戦後処理の現実を認め るのか否か、ただ一点に集約されます。その意味で、今年 は日本の政治指導者が過去の歴史といかに真摯に向き合 うかが問われる年になるでしょう。

旅行業・観光産業は平和を求める

私たちが携わる旅行業、観光産業は、世界経済と国際政治外交関係の動向に大きく左右されます。一口で言って、旅行業は平和で安定した国際環境の下でこそ発展できる平和産業なのです。逆の面から見れば、旅行業は観光交流、文化交流の拡大によって、人々の相互理解を深め、国と国との関係改善を促進し、平和を下支えする重要な役割を担っているとも言うことができます。

ロシアが「世界の問題児」のような立場に立たされ、また「嫌中国、嫌韓国」の日本人が増え続けている今こそ、日本人がロシアや中国、韓国の実像を知り、ロシア人や中国人、韓国人が日本という国をより深く理解し、お互いに協力しあえる関係を再構築していくために、旅行業・観光産業の果たす役割は重要です。

私たちは、今年も JIC 国際親善交流センターの交流活動 とジェーアイシー旅行センター(株)の事業活動に全力で取り組みます。皆様の応援、よろしくお願いいたします。

(2014年12月22日記)



写真; 昨年4月、会社の「花見会」でサプライズ。スタッフたちが還暦祝いをしてくれる。

追記:

年末も押し詰まった 12 月 26 日、モスクワの取引先社長であり、親しい友人でもあるリュドミラさんから心がほっと温かくなるメールをもらいました。

I hope both our companies will manage to gain as much as we need. We do not need much: only to support our families, to pay enough money to our staff, to travel in the world and to share joy with friend.

(私たち両方の旅行会社が何とかして私たちに必要な分を稼ぎだすことができればいいですね。でも、私たちはそんなにたくさん稼ぐ必要はありません。ただ、私たちの家族を養い、社員に十分な給料を支払い、世界を旅して、友だちと楽しみを分かち合えればそれでいいのです。)

まったく同感! 家族や JIC のスタッフ、そして友人たちと喜び、楽しみを分かち合えるように、今年も頑張りたいと思います。(12月27日)

サンクトペテルブルグの新空港とモスクワのクリスマスマーケット

杉浦 信也(JIC 東京)

1年遅れになりますが、12 月のサンクトペテルブルグとモスクワを訪問してきました。目新しかったことをいくつか報告します。

13 年末、ソ連時代から利用されてきたペテルブルグのプルコヴォ空港に新ターミナルが完成しました。ロシアの空港の多くは国際線ターミナルと国内線ターミナルの建物が分けられていました。乗り換えや移動に何十分も時間を費やしたり、ターミナルを間違えてしまったりと苦い経験をお持ちの方も多いのでは。しかし、プルコヴォの新ターミナルでは国際線と国内線の発着カウンターが同一の棟内に納まって乗り換えをするにも便利です。モスクワのシェレメチェヴォ空港(ターミナル D)、ウラジオストク空港も同形式に新築され、日本人が多く出入国するロシアの主要な空港はとても便利で新しくなりました。

さて、サンクトペテルブルグからは、ロシアの特急列車・サプサン号(日本語で"はやぶさ"の意)でモスクワへ移動しました。朝6時50分に出発、午前10時40分に到着。2等のエコ/ミー車両でも日本の新幹線より座席の幅が広くて快適。市内から空港、到着した空港から市内への移動や空港での待ち時間も含めると航空機で移動する場合と比べ大きな時間差はなくお勧めです。

モスクワに到着したのは12月22日の年末の日曜日。時

間ができたので、宿 泊したベラルーシ 駅近くのホテルから トヴェルスカヤ通り 沿いを赤の広場方 向へ散策しました。

この数年、モスク ワ市役所の主催で 「クリスマスへの旅



赤の広場前グム百貨店の飾りつけ

(Путешествие в Рождество)」と名付けられた行事が開催されています。市内数十カ所の広場や街角で、サモワールで沸かしたお茶や菓子、民芸品やおもちゃなどの露店が立ち並びます。2013年のテーマは、「ヨーロッパのクリスマス市場」。会場ごとにテーマが決められていてモスクワ市庁舎の向かいのトヴェルスカヤ広場では、「モスクワの市場(Ярмарки в Москве)」として氷像や大きなツリーが飾りつけられ、仮設のメリーゴーランドも設置されて、子供連れの家族で賑わっていました。飾り付けが華やかな露店が多い



のは、やはりマネージナヤ広場、赤の広場、グム百貨店、そしてニコリスカヤ通り周辺です。クリスマス市場は、2014年も12月12日から今年1月11日まで(ロシア正教の降誕祭は1月7日)、「世界のおとぎ話」をテーマに市内36カ所で開

催。ロシア版サンタのジェッド・マロー

スからピノキオまで登場します。会場めぐりのスタンプ・ラリーも実施されていて、今、モスクワで一押しの催しです。

ホームページはこちら; http://festmoscow.ru/

ウラジオストク、イルクーツクに

行ってきました

柳沢 昭子(JIC 東京)

明けましておめで とうございます。昨年 は本当にお世話に なりました。本年もど うぞよろしくお願いい たします。

昨年8月初旬、ウラジオストクとイルクーツクに行く機会ウラジオストクは日本は日中は34度程度ました。ウラ同様程度ました。ウラジオストクの新スポット、ルースキー島の新スポット、ルースキーとができました。キャンパスはました。キャンパスは





バリシーエ・コティーの風景

市民に開放されていて、ビーチで泳ぐ人、日光浴をする人、 ビーチ脇を散歩する人、自転車で走っている人(近くにレン タルサイクルあり)、家族、カップルなど、市民が週末を楽し む憩いの場になっていました。街中でも車や人通りが多くに ぎやかでした。

イルクーツクも日中は暑く30度程度まで気温があがり、日差しが強く日焼け止めが必要なほどですが、朝は大変に寒くて12度程度でした。8月でもフリースのようなしっかりした上着が必要です。イルクーツクでは、バイカル湖まで足をのばしました。バイカル湖博物館ではバイカルアザラシに見入ってしまいました。本

JIC インフォメーション第182号 (1995年5月29日第3種郵便物認可) 当に愛らしかったです。

イルクーツクから、さらに奥地の自然豊かなバリシー エ・コティーという地域にも立ち寄りました。宿泊施設 にはテレビがなく、インターネットも難しいです。各部 屋には暖炉があります。この地域には、お店と呼べるも のは一店舗しかありませんでした。私は旅行に行ったら、 何かを見たり聞いたりしたいと、ぐるぐる散策して忙し くしていたい!と思ってしまうのですが、こういう自然 豊かなところで数日間過ごすことこそ、とても贅沢な時 間の過ごし方なのかなと思わされました。バリシーエ・ コティーには日中の1-2時間しか滞在することができ ませんでしたが、とくに印象的だったのは音です。車・ バイクの音、テレビの音、電子音など、私たちが普段、 日常生活で耳にする音がまったくありませんでした。聞 こえてくるのは、遠くのほうで誰かの話す声、頭上の鳥 の声、目の前のバイカル湖の波の音だけです。いままで あまりこういう場所とは縁がなかったのですが、とても 貴重な経験をさせていただきました。イルクーツクはと ってもお勧めですが、ここに限らず、旅行先がどこであ っても、その旅行がみなさんの心に残るものになるよう に、本年もさらに日々精進してまいります。どうぞよろ しくお願いいたします。

はじめてのソチ

井上 紗弥香(JIC 東京)

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も JIC をよろしくお願いいたします。

11 月末頃に仕事でソチに行く機会がありました。その時のことについてお話しさせていただきます。

ソチはご存知の通り 2014 年冬季オリンピックが開催された場所です。ソチへはモスクワで国内線を乗り継いで 2 時間半ほど。黒海に面したロシアのリゾート地です。モスクワに到着したときはかなり厚着をしていたにも関わらず凍えるような寒さを感じたのですが、ソチに到着すると一転、日本よりも暖かいなと感じるほど過ごしやすい体感温度でした(気温は日本より少し低いぐらいなのですが湿度が低いため体感温度は日本より暖かく感じました)。

空港はきれいで表示も分かりやすく迷うことはなさそうです。市内へ向かう際、空港周辺ではオリンピックのためにつくられたモニュメントなどをたくさん見ることができました。空港からソチ市内へは30分ほどで移動することができます。市内へ向かう道中、バスの車窓右手には紅葉で美しく色づいた山々を、左手には大きくて穏やかな黒海を見ることができました。海と山に挟まれた景色をロシアで見るのはとても新鮮に感じました。モスクワ、ペテルブルグ、ウラジオストク、



ハバロフスク、…。都市によってまったく違う景色を見ること ができるのもロシア旅行の面白さだなと感じました。

残念ながらソチ市内での滞在時間はわずかなものでしたがモダンな街並みとリゾート地特有の穏やかな雰囲気を感じることができました。時間があればゆっくりと黒海を眺めて歩くのもいいなと思いました。その後スキージャンプ競技で利用されたジャンプ台があるクラースナヤ・ポリャーナに行きました。ソチ市内からは車で1時間程のところです。クラースナヤ・ポリャーナは四方を山に囲まれており、標高も高いので気温は市内より低いものの空気が澄んでいてとても気持ちの良い場所でした。山を縫うように流れる川に沿ってきれいな建物が並んでいます。山頂へ向かうリフトやショッピングモール、またオリンピックの写真パネルや表彰台などを見ました(表彰台に上って写真をとることもできました!)

今回ソチではオリンピックパークのすぐ隣にあるアジムトホテルを利用しました。ロシアのホテルというと対応が日本と比べて少し不親切・・・というイメージがありますが、今回利用したホテルではどのスタッフも皆親切丁寧に対応してくださったので快適に過ごすことができました。

冬に来ても過ごしやすく感じたのできっと春や夏はさらに 過ごしやすく自然も綺麗だろうなと思いました。次来る機会 があればオリンピックパークや黒海をゆっくり見てまわりたい なと思います。

「Don · Quixote」

中林 英子(JIC 東京)

JICインフォメーションを読んで下さっている方は何かしらロシアに興味をお持ちの方だと思います。ロシアに留学された方、旅行に行かれた方、きっかけ何でしたか? 私はバレエ「ドン・キホーテ」でした。小学生の頃、テレビで偶然放送されていたバレエ「ドン・キホーテ」に釘付けになってしまいました。まだ幼かった私には分かりやすい内容で、鮮やかな色彩の舞台、ダイナミックで美しく情熱的な踊りに夢中で見

入っていました。皆さんもご存じのように「ドン・キホーテ」は スペインの作家セルバンテスの長編小説です。騎士道小説 を読みふけった主人公ドン・キホーテが自分を騎士と思い 込んで遍歴の旅に出る話です。 バレエではドン・キホーテは 脇役にまわり若い男女の恋物語を描いています。このバレ エはロシアで暖かいスペインへの憧れを込めて作られたそう です。私はこの大作を作ったロシアとスペインに憧れを持ち ました。今でこそ、或いはこの仕事をしているからか簡単に 海外に行けますが、子供のころ私にとっては、海外に行くな んて想像できるものではありませんでした。数年後、初めて モスクワに行った時、自分がその地に足を踏み入れたのが 夢のようだったです。そして憧れのバレエをボリショイ劇場で 観ました。今でもはっきり覚えています。1999年の6月のボ リショイ劇場の初演の「ドン・キホーテ」です。 主観的な感情 が入りますが私が今まで観た中で一番感動的でした。憧れ の場所で憧れの舞台を見たということと共に、バレエ自体が 素晴らしかったです。もうこんなに感銘を受ける舞台には出 会えないような気がします。その感動をずっと秘めたまま、 今度はいつかドン・キホーテの歩いた道を少しずつでも訪 れられたらと思っていました。



写真;マドリード王宮 (Palacio Real de Madrid)

そして、ついに数年前、スペインのマドリードを訪れました。 まずはドン・キホーテやセルバンテスの像のあるマドリードの スペイン広場から。左手に槍を持ち右手を上げて馬にまた がるドン・キホーテと、ロバに乗って従うサンチョ・パンサの銅 像を見るとこれから始まる旅への期待で胸が弾みます。街を 歩いていると、バレエの舞台が目に浮かんできて、こんな場 面あったと思うところや小説の挿絵と同じような風景もあれ ば、これはネオンが光る 21 世紀の現代の様子だとふっと現 実の世界に引き戻されたり。思い入れのある場所なので、 何もかもが印象的でした。

滞在最終日、丘から街を眺めていると、ドン・キホーテとサンチョ・パンサが沈む夕日に向かって新たな旅に出発する姿が浮かんできました。そして私もこの続きをいつかできればと思っています。皆様も素敵な旅に出会えますように。

お久しぶりです!

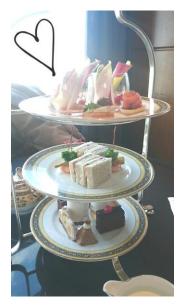
五十嵐 真夕(JIC 東京)

インフォメーション読者の皆様、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

約3年に及ぶ産休・育児休暇を経て、昨年4月より復帰しました五十嵐です。

「五十嵐を待っていた!」 という方がもしおいででしたら ご一報を。

毎年、師走を迎えると「もう 今年も終わりかぁ…」と思うも のですが、昨年の一年間は 今までにないスピードで過ぎ 去りました。とても忙しい一年 だったように思います。二児 を抱えて職場に復帰したこと に加え、繁忙期めがけて家 探しを始めてしまい、最繁忙



期に引っ越しをするはめになり、心身ともにボロボロになった夏。昨年した「夏らしいこと」と言えば、近所の夏祭りに行ったことくらいです。悲しすぎる。

秋には「手配旅行」の担当から「まるごとロシア(パッケージツアー)」の担当になり、慣れない作業に四苦八苦。そしていつの間にか New year has come (^o^)/今年はもっと季節感を楽しみたいものです。仕事以外でね。

幼子がいてあまり旅行にも行けないので、密かな楽しみを見つけました。それは、友人と一緒に都内のロシア料理店と、都内ホテルのアフタヌーンティーに行くことです。目標はそれらを制覇すること!

ロシア料理店は渋谷「ロゴスキー」や高田馬場「チャイカ」、神保町「ろしあ亭」、新宿「スンガリー」などを攻めました。次は吉祥寺「カフェロシア」や六本木「バイカル」を狙っています! ちなみに好きな料理は rpu6ы(グリブィ)という名前で出ていることが多いキノコの壺焼き。どこのお店に行っても、だいたいキノコの壺焼きが付いているコースを頼んでしまいます。

ホテルのアフタヌーンティーの方はまだそれほど行けておらず、「パークハイアット東京」と「マンダリンオリエンタルホテル」、「ザ・リッツ・カールトン東京」の3つのホテルのものしか楽しめていません。次は「ペニンシュラ東京」のアフタヌーンティーを味わってみたいなぁ。

今のところパークハイアットのアフタヌーンティーが一番好きです。何と言ってもプチデザートやフィンガーフードが食

べ放題!人気があるのもうなずけます。アフタヌーンティーなのに、お腹いっぱい食べられますからね~。食いしん坊ですみません。

本年も皆様にとって素敵な一年になりますように。

日本のロシア満喫中!!

田邊 由紀子(JIC 東京)

新年明けましておめでとうございます!今年もどうぞよろ しくお願いいたします。

2014年はプライベートが目まぐるしい日々で、休日さえも落ち着かず、あっという間に時が過ぎていきました。そんな私を癒してくれたのが、私の周りに集まった可愛いロシアングッズです。今では、だいぶ日本の女の子たちにも定着してきたマトリョーシカとチェブラーシカ。100円ショップにも、文房具、キッチン用品など色々な用途のマトアイテムが登場していますし、チェブラーシカは国内の各メーカーさんとのコラボ商品をたくさん目にするようになりました。ロシア好きの私は、それらを見るたびに嬉しくなり、ついついレジに持って行ってしまいます。JICで頂いたロシアのお土産物も加わり、とても賑やかな机上で、毎日お仕事させて頂いております。



ロシア人からすると、彼らの知るチェブラーシカ、マトリョーシカとはちょっと違ったイメージで、もしかすると少し気を悪くしているかもしれませんが、私個人としては、一つ一つに味のあるロシアのトラディショナルなお土産物も、日本で大量に売られているマト・チェブグッズも、それぞれ良さがあって支持したいところです。とくに昨年は、JIC スタッフと共にエドゥアルド・ウスペンスキー氏の講演会に行かせて頂く機会があり、作家ご本人から貴重なお話をうかがって、さらにチェブ熱が上がってしまいました。

JIC での私は、昨年くらいからツアーセンターのお手伝いをさせて頂いておりますが、それらのお仕事をしながら、とて

もロシアに行きたい衝動にかられています。最後にロシアに 行ったのは十数年前なので、そろそろ本場ロシアの空気を 満喫したいと。特に、ニホチカの極東は未だ訪れたことがな いので、ウラジオストクではルースキー島へ、シベリア鉄道 に乗って、ハバロフスクの雑貨めぐり~と脳内旅行は何度と なく...。

近い将来に是非!!とは言うものの、自分を取り巻く環境もあるので簡単には行けないので、手はじめに、何年も前に有効期限が切れていたパスポートを再取得し、実現へ向けて密かな準備をしております。いつの日かのロシア渡航を期待しつつ、2015年も日本のロシアを楽しみながら、JICでのお仕事を頑張りたいと思います。

ロシアでつながっていた"縁"~その後

佐藤 早苗(JIC 東京)

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年の新年号で、ロシアが縁で小学校の同級生と再会したという記事を書きましたが、去年の4月、その友人とハバロフスクに行ってきました。

ハバロフスクを訪れるのは約 10 年ぶり。 ただ 10 年前は 1 日しか滞在しなかったので、今回のように 1 週間ゆっくり町 を見るのは約 20 年ぶりになります。 出発前から胸がワクワクしていました。

4 月初旬のハバロフスクはきっとまだ雪も残っていて、東京の真冬ぐらいの寒さだろうと覚悟して行きましたが、雪の姿は影も形もなく、とても暖かでした。現地の知人によると、この時期に雪がないのは本当に珍しいことだそうです。

実は今回の旅行で密かに会えたらいいなという人がいました。昔勤めていた、モスクワ放送(現在は「ロシアの声」)ハバロフスク支局日本課の課長さんです。が、彼の連絡先を何一つ持っていません。考えられる唯一の方法は、元の職場に行くことぐらいです。しかし今もそこで働いているという保証はありません。何しろ 20 数年前のことですから。

早速放送局に向かい、建物の中に入りました。受付のおばさんに尋ねました。

「昔ここで働いていた K さんはいますか?」

「退職して今はいません。」

「連絡先を知りたいのですが...」

「住所と電話番号はわからないけど、近くに住んでいるから 時々見かけるわよ。会ったら何か伝えましょうか?」

「はい!日本からサトウが来たと伝えてください!」

携帯番号と滞在先のホテル名を残してお願いしてきました。

20 年ぶりのハバロフスクは激変していました。大型ショッピングセンターやスーパーマーケットには商品が溢れていま



ハバロフスク Дом Радио(放送センター)前にて

す。ただ変わっていない部分もありました。目抜き通りを一歩入ると、階段はガタガタ、バラックのような廃墟が立ち並んでいます。宿泊していたホテルでは、1週間の間に2度も停電しました。1回目は夜遅く、それも入浴中で、部屋備え付けの懐中電灯もなぜか使えなかったため、スマホの灯りがなかったらどうなっていたことか…と今思い出してもゾッとします。

20 数年前、"ヴァレリー レオンチェフ"と"JIroбэ (リューベ)が好きで、彼らがハバロフスクに来た時はライブにも行ったのですが、偶然にも今回彼らのライブの宣伝ポスターを街中で目にして、まだまだ頑張っているんだなぁと、嬉しくなりました。(日にちが合えばライブ行きたかった!)

さて K さんの話に戻りますが、帰国する前日に再会することができました。週末はダーチャの作業で忙しい中、ホテルまで会いに来てくださいました。受付のおばさんに感謝、感謝です。K さんの話によると、おばさんとは「偶然会った」のではなく、おばさんが放送局の元副局長さんに電話して下さり、彼から K さんに電話が来たそうです。ハバロフスクの人はやはり温かかったです。

パスポート(第10回)

金井 義彦(JIC東京)

入社してから連載10回目のこの新年挨拶。「連載」と 書いたのは、初めての新年挨拶から同じテーマ「パスポート」で話を書き続けているから。内容に直接的なつながりは無いものの、一年という長い間隔の「連載パスポート」なのだ。こんな説明で始めたのも、年一回とはいえ毎年毎年新しいパスポート話ができるわけでもなく、つまりは古い話を書く事の言い訳である。

音楽の都に一泊する事にした。ト音記号の形をした花

壇の後ろにモーツァルトが立っているその都へは15年 ぶりの再訪だった――初めて一人で行った外国がその 都。冬だった。一か月くらいふらふらと「東欧」と当時 呼ばれている国々を歩いてみようと思っていた。その頃の東欧諸国へ訪れるには各国それぞれのビザを取得する必要があった。「音楽の都」に着いた後、まずは目的の大使館の電話番号を調べ、大使館に電話し、ビザが欲しい旨を伝え、取得方法を聞く。開館時間情報も大事だ。また、大使館の住所だけでは行き方がわからない。タクシーではなくバスでどうやって行くのかなども聞いて、バス停周辺で人に道を尋ねてやっと大使館へたどり着ける。ビザのためパスポートを大使館にあずけて、取りに行くのは後日。数日間はパスポートを持たずに街を歩く事になる。今思い返すと、外国でパスポートを携帯していない状態によく不安が無かったものだ。

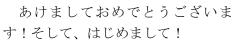


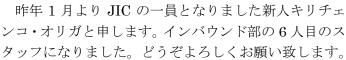
撮影地;沖縄にて

ペラを観に行くと言うのだ。試験勉強しなくていいの? と思っていたが、僕は彼の語るオペラ愛に影響され、そ の夜から一晩おきにオペラに行くようになる。ふらふら 東欧の旅中、色々な街で。観劇のチケット代が高かった らそんなに頻繁に行く事などできなかったはずだが、開 演3時間前くらいに売り出される天井桟敷の立ち見席チ ケットは20シリング、230円。チケットを買うための行 列でじっと待ち、天井からオペラを見下ろす——15年 も経つと街を歩いていても何も思い出せないが、国立劇 場の前に来ると自然と立ち見席チケット売り場に向か っている。安いチケットを買うための相変わらずの行列。 通貨が変わってしまったが立ち見席チケットは3ユーロ、 360円ほど。行列に並んでいると15年前に同じ事をして いる自分を思い出す、、、いや。昔話を始めるのは早過 ぎやしないか。あの頃、旅の仲間につぶやいた夢。夢と 言うには大袈裟か、ぼんやりと描いたやりたい事。「世 界の国の半分くらいには行ってみたい」。今年はそれが 叶うと思う。あと2か国。叶うよう動くと思う。

はじめまして

キリチェンコ・オリガ(JIC 東京)





私はロシア人です。私の故郷はロシア連邦の東端にある港町、ウラジオストクです。町の名前には特別な意味があります。町を創立したムラヴィョーフ・アムールスキイは「東方を支配する」という意味を持ってウラジオストクと名付けました。あまり大きくない町で、日本の町に比べると新潟市に似ています。しかし、坂道が多いため、観光客むけには「東のサンフランシスコ」と言われています。

ウラジオストクは大変魅力的な町です。金角湾、坂道、 大橋、ケーブルカーの展望台などの名所だけではなく、 外国の観光客も親切なウラジオストクっ子も同じよう にウラジオストクが大好きです。極東ロシアに来る多く のお客様はこの町を必ず1度訪問してから帰ります。

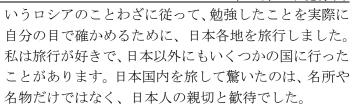
日本とウラジオストクは日本海をはさんで、距離的にとても近いので、昔から日本とウラジオストクには深い関係がありました。ウラジオストクっ子は日本が大好きで、私ももちろんそうなので、学生時代に日本語を勉強し始めました。

日本語は難しい言語です。日本語を勉強する外国人にとって一番大変なのは漢字です。私は漢字が大好き



わない漢字をすぐに忘れてしまうことです。しかし、 日本への愛着と「日本に一度行ってみたい」という夢を 実現するために、一生懸命に頑張りました。

最初の来日の目的は留学でした。日本で暮らし、日本語、日本社会、日本文学を勉強しつつ、日本の魅力にとりつかれていきました。このような私の考えは日本での勉強だけではなく、周りの日本人の影響を受けて形成されていきました。その当時、「百聞は一見にしかず」と



私はインバウンド部で仕事をしていますが、同国人 にこの素晴らしい国への旅行を提案することができる のはとても嬉しいです。

今年もよろしくお願い致します。

長野観光

竹村 貢(JIC東京)

あけましておめでとうございます。インバウンド部の竹村です。今年もよろしくお願いいたします。



地獄谷温泉野猿公苑にて

昨年はプライベートではたいした旅行をしていませんが、 9月に会社の研修で長野に行きましたので、そのことについて書かせていただきます。

2 日間の行程で、地獄谷温泉⇒小布施⇒善光寺⇒ (戸 隠泊)⇒戸隠神社⇒戸隠忍者からくり屋敷に行ってきました。

まずは地獄谷温泉ですが、地獄谷温泉という名称は、長野だけでなく何箇所かにあり、富山や熊本などにもあるようです。今回訪ねたのは、ニホンザルが温泉につかるので有名な長野県山ノ内町の地獄谷温泉です。ロシアではこの温泉の写真が雑誌の表紙を飾ったりして知っている人も多く、時々お客様から地獄谷温泉の手配を頼まれます。

通訳ガイドさん同行で、東京~長野の新幹線代と長野駅から地獄谷温泉までのタクシー代などを入れると、個人旅行ではどうしても料金が高くなってしまい、実際に行く人は少ないのですが、人気の観光スポットの一つです。

まず、新幹線で長野駅へ。レンタカーを借りて、地獄谷温泉の入口である上林温泉に1時間ほどで着きました。ここから先は車では行けません。駐車場から遊歩道のような山道

を 20~30 分歩くと野猿公苑の入口があります。途中、急な階段や坂道があったりするので、冬の雪がある時期は大変滑りそうです。受付を通り抜けると猿たちが通路の脇で出迎えてくれます。奥にある温泉では何匹かの猿が温泉につかっていました。温泉に入っているカメラ目線の猿の写真をどうしても撮りたかったのですが、なかなか私の方を見てくれません。しまいには温泉から上がってしまいました。仕方なく、近くの手すりに座っていた親子猿にシャッターを向けていたら、タイミング良く二匹のカメラ目線の写真を撮る事が出来ました。

次は小布施です。地獄谷温泉から小布施までは車で 30 分ほどです。私は小布施という町がどんなところか知りませんでした。が、行ってみると、昔の街並みや歴史を感じさせる酒蔵、起伏のある道があり、とても素敵なところでした。そのあとは善光寺にお参りして、戸隠の宿坊に泊まりました。

翌日は戸隠神社の奥社まで歩いて登り、戸隠忍者からくり屋敷に立ち寄りました。ここはお勧めです。是非行ってみてください。その名の通り、からくり屋敷で中は迷路になっています。子供だましなのかと思いきや、大人でもどこが出口かわからなくなってしまいます。私は、近くにいた人が出口を教えてくれたのでなんとか出ることができました。

そんな2日間の研修でした。今年もいろんなところに行ってみたいと思っています。

ペテルブルグから謹賀新年!

荒川 好子(サンクトペテルブルク)

1998 年にサンクトペテルブルクに来て以来、ロシアで 17 回目のお正月になりました。極寒のヤクーツクからヤシの木が生えるソチまでロシア国内いろんなところに行きましたが、主な私の生活テリトリーは、大学河岸通り 11 番のうす水色の建物の中でした。



教え子たちに囲まれて

学科を、主なテリトリーとしています。

東洋学部日本語科では、1年生から4年生までと、マ

スターコースの 5・6 年生の約 60 人が日本について勉強しています。専攻は、日本語・日本文学、日本史などですが、日本の地理や文化など広く日本について学びます。ロシア全体で同時に行われる統一試験が導入されて



からは、サハリンから カリニングラーシャー シア全国から で生が入学するよんな学 をかました。みな学された なが大ら、ぜひ友 をすから、ぜひ女 に日本学れたの たっなでもい。十数 でなてください。十数

年の教師生活の中で、私が恋のキューピットになって結 ばれた国際結婚カップルも何組かいますよ。

東洋学部のうす水色の建物の中庭には、恋愛に御利益があるパワースポットがあります。かばのトーニャちゃんの記念像です。トーニャちゃんの耳を触ると結婚できるのだそうです。男の子は左耳で、女の子は右耳です。くれぐれも間違わないように気を付けてくださいね。

学生はみんな一生懸命勉強しますが、やはり同世代の 日本人の友達との交流が一番楽しいようです。私は低学 年の日本語会話の授業を担当しているのですが、ぜひ、 授業に遊びに来てください!そして、中庭のカバに願い 事をしてみてください。本当に願いがかなうかもしれま せん。

2015年も良い年でありますように!

バイコヌール宇宙基地を訪問

トカチェンコ・ドミトリー (タリン)

皆さん! いよいよ 2015 年になりました。

昨年一番印象に残っている出来事は、カザフスタン にあるロシアのバイコヌール宇宙基地を訪問したこと でした。

カザフスタンの領土に位置するのに、この基地をロシアが管理している理由は、ここは元々ソビエト連邦が作った基地だからです。この基地からガガーリンが宇宙へ飛び立ったので、バイコヌールはロシア人にと取って誇るべき宇宙基地です。

バイコヌールの歴史は 1950 年代に始まりました。第二次世界大戦でドイツは初めて V2 という弾道ミサイルを開発して実戦に使用しましたが、ドイツ敗北後、ソ連とアメリカの間に冷戦と軍備競争が始まり、ミサイル開発の分野でも熾烈な競争が行われました。

アメリカとソ連の一番の課題は、大陸間ミサイルの

JIC インフォメーション第182号 (1995年5月29日第3種郵便物認可)

開発でした。V2 は 320 キロの距離までしか届かなかったのですが、ソ連ロケット設計者のセルゲイ・コロリョフは、1957 年に航続距離 8000 キロの R7 ロケットを開発しました。R7 は世界で初めての大陸間弾道ミサイルでした。このように、元々軍事目的で開発された R7 ロケットによって、同じ 1957 年に世界初の人工衛星、スプートニクが打ち上げられました。ソ連のロケットは、同年にライカ犬を、そして 1961 年に人間を宇宙に届けました。





1950年代後半に、R7ロケット開発実験場はバイコヌール宇宙基地になりました。その理由は、バイコヌールが無人の土地で、比較的赤道に近く、晴天日が多く、水源である大きい川と鉄道が近かったからです。

バイコヌール基地には、一般人は簡単には入れません。まず、ロスコスモス(ロシア連邦宇宙局)にリクエストを送って許可を取らなければなりません。許可が下りてもバイコヌールまで行くのは大変です。カザフスタンの首都アルマトィに行って、そこから飛行機でクズイルオルダと言う町まで2時間ぐらいかけて行き、さらに車で4時間ぐらい大平原を走って、ようやくバイコヌールにたどりつきました。

バイコヌールの一番南に町があります。ここはロシアの管理下なのでお金もカザフスタンのテンゲでなく、ロシアのルーブルです。この町には、宇宙基地で働く人が住んでいるのです。そして、日本も含めて全世界の宇宙飛行士はバイコヌールのコスモナウト(ロシア語:宇宙飛行士)というホテルにとまります。宇宙飛行士がサインした部屋のドアなどを見ました。町の中心部には、ソユーズ・ロケットの模型が立っています。国際宇宙ステーションに行くすべての宇宙飛行士が今でも打ち上げられるロケットです。

宇宙基地そのものは町から 50 キロぐらい離れています。基地の中には、ガガーリンが乗ったロケットの発射台があります。初めてその発射台を見て、ガガーリンが言った言葉を思い出しました。

「ロケットで地球を回って来て、我々の惑星が何と美しいか見ることができました。人間よ、これからもその美

しさの全滅でなく、保存と拡張に全力を尽くしましょう! |

皆さん、あけましておめでとうございます!

人生には、できないことはあまりな い!

チスティリーナ・イリーナ(モスクワ)

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

去年も、例年通り、嬉しくて楽しいこと、悪くて寂しいことがたくさんありました。寂しくて悪いことが私の勉強になって、嬉しくて楽しいことが2014年のいい思い出になりました。

私は子供のときからスポーツが好きです。でも、"女性的な"スポーツをやったことがありません。何年間も、ダンスをやってみたいと思っていましたが、「できない」、「時間がない」、などの口実がいつも現れました。



9月、友達がアルゼンチンタンゴのコンサートを見に行くことを勧めてくれました。コンサートの後、どんなダンスを学びたいかが確かに決まりました。その週のうちからタンゴを学び始めて、2回目の授業の後には専門の靴を買いに行きました。だから、タンゴに「一目惚れ」でした。

12 月、怖かったですけれども、非常に面白そうだったので、ミロンガというダンスパーティに初めて参加しました。もちろん、数ヶ月ほどダンスの勉強をしたくらいでは、音楽に合わせて踊ってみるのはとても難しいです。けれどもタンゴは、気分の悪いことや毎日起こる色々な問題にもかかわらず、祭日の雰囲気をもたらしてくれます。

人生にはできないことがないのがよく分かりました。

JICインフォメーション第182号 (1995年5月29日第3種郵便物認可) やりたいことがあって、何か学びたいと思ったら、何で もできますよね。

2015年が皆様にとりまして幸多き年になりますようにお祈りいたします。

珍しいお客さま

奥田 美千代(サンクトペテルブルグ)

皆様、新年おめでとうございます。

昨年を振り返り、どんな一年だったかを考えたのですが、 特に何も思い浮かびません。そこで、何かヒントがあるかと、 一年間に撮りためた写真を眺めてみました。すると、自分や 家族はほとんど写っておらず、木と小鳥の写真ばかり。写っ ていたのは我が家の前に立つ一本の черёмуха (ウワミズ ザクラ)の木に訪れたお客さまばかりだったのです。

このウワミズザクラは、キッチンの窓の真ん前に立っており、 春には小さな花が満開に咲きほこり、甘い香りが辺り一面に 広がります。キッチンにいても、この芳しい香りを楽しむこと ができます。その香りに誘われて、家の中にまで蜂が入って 来て、毎年困ってもいますが。以前は、この木に野良猫ちゃ

んが登ってきていまし た。

昨年の夏は、渡り鳥でしょうか、普段は見かけない色々な鳥が群れでやって来て、このウワミズザクラの実を啄んでしました。残念ながら、野鳥の種類には詳しくないので、何という名前の鳥なのかは、分からな



キッチンの窓から

いままです。ただ、珍しい鳥だったので、一度、キッチンからビデオで鳥の様子を撮ったことがありました。鳥が枝から枝へ飛び、実を啄む様子に和みながら撮影していると、急に目の前を赤茶色の細長い物体が横切り、思わずビックリ!カメラから目を離し、直接見ても、何もありません。もう一度カメラを覗き込み、ズームして注意深く探してみると、木の葉っぱの奥の方に、やはり赤茶色が見えました。でも、その動きのすばしっこいこと!なかなか合わせ切れず、正体も分からず。しばらくして見えてきたのは、フサフサしたしっぽ、そして、そのしっぽを手入れしている小さな手(というか足)でした。それから、ようやく、かわいらしい顔を見せてくれました。リスです。今まで、それこそ色々な鳥がやって来ましたが、さすがにリスは初めてでした。ほんの数秒、カメラに納まってくれましたが、すぐに木を下りて、どこかへと走り去っていきました。後で教えてもらったところによると、リスはウワミズザクラ

の実は食べないらしいのです。確かに、私が見ていた間も、 枝を走り回っていましたが、食べている様子はなかったよう な気がします。それでは、なぜこの木にやって来たのでしょ うか? 夏の日の小さなサプライズでした。

さて、今年は一体どんなお客さまが来るのか、今から楽し みです。



大人は大人の恋をしましょう

百瀬 智佳子(JIC 東京)

新年おめでとうございます。

皆さんはどんなお正月を過ごされたことでしょう。帰省、遊び、お年玉。お子さんがいるご家庭では、何ごとも子ども中心になりがちですね。私自身、出産時には、我ながら大それたことをしてしまった、と思いました。何しろ自分自身よりも大切なものを作ってしまったのです。自己中心を是としていた私にとってはまさに、天地がひっくり返る事態です。以来子供中心の生活を送っていた私ですが、久しぶりに、子どもから離れ、異常なまでのトキメキを覚える出来ごとが起きました。

それはもう、若き日にすらあったかどうかの感覚。寝ても覚めても興奮が冷めやらず、心に占めるものがある。覚醒状態で眠れず、深夜にふと目覚めても寝つけず、身を持て余して部屋の片づけなど始めてしまう。食欲の自覚がなく、食べていないことにも気づかない。映画でよくある、恋に身をやつしてゲッソリしてしまうというのはまさにこんな感じに違いない。そのくせ、心臓だけがいつも激しくバクバクしているのです。ああ、苦しい。。・・さすがに新年早々、人間相手のお話の告白はいたしません。相手は、ピアノです。それも中古のアップライト。店をめぐり何台か試弾をしても、やっぱり中古ってこんなものかしらとピンとこない日々でした。ところがある日、ぽろろんと鳴らした瞬間に、体中が音に吸い込まれるような感覚に。トキメキに顔を赤らめつつ即購

入を決めましたが、家への搬入を待ち焦がれたほんの2週間の間に私は上記のようにゲッソリとしてしまったのです。呪いのピアノかと疑ったほど。こうして、徹夜も出来ない年なのに眠れずつらい夜を過ごした私は心に刻みました。「若さあふれた恋愛は健康に障る年になりました。大人は大人の恋をしましょう。」

ちなみに腕前のほどは全くで、小3の息子と同レベルで子ども時代に止まったまま。けれども、これを機におりをみてはつま弾くようになりました。そして最近思うのです。ピアノを弾くって、何が楽しいのでしょう?私の場合など、誰に聞かせるでもなく、セッションするでもなく、奏でる音楽はその辺のCDとは比べようもなく、ただピアノに向かい、まばらな音を出しては悦に入るのみ。何がどうして楽しいの?かつては疑問に思わなかった基本的なことに首をひねりつつも鍵盤いじりを楽しむひとときは、とりあえずあたたかく幸せな時間です。

環境が変われば人も変わる?

白井 真理奈(JIC 東京)

新年あけましておめでとうございます。そして、JIC インフォメーション読者の皆様、大変ご無沙汰しております!!! 一昨年の5月に双子の男の子を出産し、育児休業を経て昨年の4月よりJICインバウンド部へ戻ってきました。

出産後しばらくは、社会とはかけ離れた怒涛の双子育児生活を送っていたので、JICに復帰した時にはPCを使うのも頭をフル回転させるのも久しぶり。しかも、ロシア語や英語のタイピングも間違いだらけでこの先かなり不安でしたが、今になってやっと以前の感覚を取り戻し、ようやく業務に順応してきたように思います。

さて、「環境が変われば人も変わる」とは言いますが・・・まさにその通りだなぁ、と常々実感する今日この頃です。今までは、夫婦2人で夜な夜なお酒を飲みながら山岳地図を広げ、次の登山に向けて行先や登頂ルートを決めたりするのが何よりもの楽しみで、買い物はと言えばアウトドア用品ばかり。でも今となっては、双子の通っている保育園の先生が連絡帳に書いてくれる1日のコメントを読んだり、近くのリサイクルショップで子供たちの服を格安で購入できた時の方が大きな喜びを感じます。いわゆる、「親バカ」というやつに変身してしまったという訳です(笑)

また、子供たちを出産するまではまるで気にも留めなかった事や気づかなかった事がた~くさんあり、食べ物にしても飲み物にしても、口に入る物はとにかく安心で安全な国産の物を買うようになりました。洗濯洗剤は肌

にやさしい無添加のものにしてみたり、真夜中に国産小麦とイースト菌で子供たちの食べるパンを手作りしてみたり。最近では我が家の近所には意外とたくさんの公園がある事を知り、車で30分も走れば巨大なアスレチック公園や牧場もある事を発見しました!!! どれも今まで夫婦2人だけの頃には考えも知りもしなかった事ばかりです。

昨年の夏、双子を連れて2泊3日の旅行に行きました。 今までだったら2泊3日の「旅行」ではなく、「山行」 だったはず。しかも3日分の食料と非常食、それに調理 をする為のコッフェルや燃料をザックに背負って山を 登り、雨が降ろうが風が吹こうがテントの中で寝袋に入 って寝ていたのに、双子が産まれてからはわざわざ高い お金を出してホテルに泊まり、ホテルのレストランで食 事を食べ、ふんわりと温かく清潔な布団で寝る、という 風に様変わりしました。



マザー牧場にて

公園、水族館、牧場。今までは縁もしたが、今までは当たりりも無いが、今では当たりまるようにまりました。 かりまりました。 かりました。 かりました。 かりました。 かりました。 かりました。 かりました。 かりました。 かりました。 かりました。

今年の5月、我が家の双子は2歳を迎えます。これくらいの月齢になると、少しだけだったら自分の足で山を登れる頃でしょうか。久しぶ

りにテントと食料を背負って山にでも行きたいな、と思うところです。というよりか・・・本音は、宿泊費や入場料などのお金をかけずにタダで遊びたい!!! という事です(笑) プライスレスな楽しみ方。我が家の二人にも分かってもらえるかな?

「完全なる親バカ」を目指します

白井 秀治(JIC東京)

皆様、あけましておめでとうございます。

JIC に入社して早二年になろうとしている白井です。 皆様にとって 2014 年は如何な年だったでしょうか? そして迎える 2015 年の抱負などございますか?

この二年わたくしの中で人生の転換期とでもいうの

でしょうか、本当に様々なことが変化いたしました。



それを列挙いたしますと...

1. ライフスタイル だった「外遊び(登 山、アイスクライミ ング、テレマークス キー、カヤック、キ ャンプ、マウンテン バイク、etc)」から 遠のいた。

冬山メインで、ス キーももちろんテ ント泊。八ヶ岳の氷

瀑の前でもテント泊(因みに国内での最低気温体験はこちらの氷瀑前で一晩過ごしたときです。早朝にマイナス29℃を記録)。少なく見積もっても年間30泊はどこかの山中テントで過ごし、さらに5泊はキャンプをしていました。昨年は日帰りのお山に2回ほど。仕事で立山に2泊3日。とてもじゃありませんが、自称「山好き」なんて言えません。

2. 愛車(世界最強トライアルマシン=スズキジムニー) の公認改造にお金を掛けなくなった。

一昨年、それまでのジムニーを廃車に、現行の新型車を購入いたしましたが、ヤフオクなどで車のパーツ(強化ブレーキ・クラッチ、強化サスペンション、インテーク強化パーツ、転倒時やロックセクションでヒットするデフ、トランスミッションやタンクなどのガード類)を買ってきては交換していたわたくしは、一切合財愛車をいじらなくなりました。とてもじゃありませんが、自称「四駆好き」なんて言えません。

3. 楽器をいじらなくなった。また、音楽 CD の購入が なくなった。

我が家の CD コレクションは数年前に 800 枚を超えました。この 2 年、まったくもって CD 購入から遠ざかっております。とてもじゃありませんが、自称「音楽好き」なんて言えません。

- 4. 夜更かしをして、海外ドラマを見なくなった。これは健康的ですね。
- 5. スーツを着て仕事をするようになった。
- 6. ロシア語を使うようになった。
- 7. 観光地に行くようになり、宿に泊まるようになった。 5~7はJICに就業したからですね。

それにしても、ここまで生活スタイルが変貌した原因は、実のところ子供の誕生です。しかも双子ちゃん。彼らの誕生以前、わたしくしの世界は色々な場所に点在していると疑っておりませんでしたが、全くの間違いでし

た。世界の中心は我が子だったのですね。

ここで今年の抱負を宣言させて頂きます。2015年は、 わたくし、「完全なる親バカ」を目指します。

園児弁当の試練

小西 章子(JIC 大阪)

あけましておめでとうございます。

昨手しお口学いし、方た年配て客シのたたりに留は担多様ア相だ今多充学留当くか語談き年く実生



活を送っていただけるよう、自分が留学を志したころの 初心を思い出してさらに頑張ろうという気持ちです。ぜ ひお気軽にご相談くださいね。今年もよろしくお願いい たします。

おそらく誰もご興味ないでしょうが、私のもう一つの 顔はごくごく普通のおかあさんです。4歳のおませな女 子の子育てをしています。昨年親子そろって、様々な未 知の世界があふれた幼稚園社会に飛び込んだわけです。 その中で私をもっとも悩ませた世界のひとつ、それがお 弁当です。平常時は週一回、働く両親を持つ子供のみ登 園する長期休暇中の間は毎日。元々、私自身と夫のぶん は毎日、いや時々はサボっていたけれどほぼ毎日、お弁 当を作っていたので楽勝だと思っていたのですが、とこ ろがどっこい、園児弁当はどうやら勝手が違いました。



然入らないのです。最初の何週間かは毎日これに苦労しました。

そしてデコレーション...。ええ、デコりますとも...。 コッテコテのキャラ弁とはいきませんが。4歳女子のご 要望は、それはそれは細かくてハイレベル。冷蔵庫の中身も、おかあさんの不器用さも、一切関係なく自由気ままなオーダーが入ります。お友達のお弁当もしっかり見ているようで「〇〇ちゃんのお弁当可愛かった!」といった報告は日常茶飯事。あぁ、女子ってこんなだったよね…。あまりにしつこいと、おなかに入れば全部一緒やん!なんて思ってしまったりもするのですが、私もかつては女子だったわけで、私が子供だったらそりや可愛いお弁当だとうれしいだろうなと思うので、事情の許すかぎり期待に沿えるよう努力しています。それでも、どうしようもなく地味弁になったときは、プリキュアのふりかけをそっとしのばせておけば納得してもらえることも学習しました(笑)。園生活はまだまだ続きます。いつかは娘の期待を大きく上回るような素敵なお弁当をつくれたらいいな、と思います。

健康を気にする年頃・・

後藤 正明(JIC 大阪)

あっとゆう間に1年が終わり、2015年になりました。 年齢を重ねるごとに1年過ぎるのを早く感じ、ふと昔は こんなに早かったかな・・と感じております。

年齢を重ねて感じることが、健康面、体力の衰えなどは年々ではなく、日々感じるようになってきています。幸い、今まで大きな病気やケガをしたことはないのですが、年を取るにつれて身体のことを心配するようになってきています。が、昨年の目標であった"タバコを止める"ことはできませんでした。



JIC でもタバコを吸う人は年々少なくなっており、今ではほんの $2\sim3$ 人ほどになってしまっています。確かに、百害あって一利なし、とゆうようにタバコがいい面がないのはわかっています。

ひと昔前までは、街を歩けば、カフェやレストランに 行けば当たり前のようにタバコの匂いがしており、それ を不思議がる人もあまりいなかったように思います。ケーブルテレビで、80年代のドラマを見るとタバコはキャラクターや格好に関係なく、ごく当たり前に吸われていて、道へポイっと捨てる場面も平気であります。私の子供の頃はそのような光景が当たり前でしたが、今では完全アウトです。

その頃から考えると、禁煙が当たり前になるなんて想像もできなかったと思います。もちろん、私は吸うときはルールを守って外では必ず喫煙場所で吸っています。健康面を考え、昨年からは少しずつ本数を減らすようにしています。同時に今までは関心のなかったサプリを飲んだり、時間を見つけて泳ぎに行ったりと運動不足にならないよう気をつけています。また山登りほどハードなことではないですが、紅葉を見に行ったり、日帰り温泉などはここ数年、毎年行っています。昔はそんなこと考えもしなかったことです。紅葉や日帰り温泉など年寄りのすることなどと勝手に思っていました。むしろこんなことを考えるなんてあり得ないと思っていましたが、年齢を重ねるにつれて、少しずつ健康面のことも考えていかなければと思うようになってきました。

きれいな空気を吸って、温泉に入り、運動をして・・ それがとても気持ちいいことがここ最近になってわか ってきたような気がします。今年も、時間がある限り"健 康面"にもっと良いことをしていけたらと思っています。 タバコは・・・嗜む程度に(笑)

最後になりましたが、今年もよろしくお願いいたします。 (写真は、昨秋行った比叡山です。まだ色づく前)

「ファイト!」

小原 浩子(JIC 大阪)

「小原さんすみません、ちょっとお話があるのですが」。

平日の朝一番にこの言葉を聞くと、なんともいえない胸騒ぎがする。「お話」というのは、私には今さらどうすることもできない決定事項のことだ。いつも半笑いで「えー、何ですか?いやだなぁ改まって」と言うものの、その間に次に発される言葉のダメージに耐えうるだけの気持ちの準備をしないといけない。なぜなら改めての「お話」というのは、雑談では決して語られることのない、それなりのインパクトを持ったものだから。もっと具体的にいえば、JICを去って新しい場所に進むことを表明するための「枕詞」であることが多いのだから。時には幸いにして違っていることもあるが、違っていてほしいと願う時ほど当たっていることが多い。

思い返してみれば、4年前に私がその言葉を初めて聞

くことになってから、その「枕詞」を今まで何度聞いたことか。それは全く予想していなかった時に言われる場合もあるし、もう何度もその状況をシュミレーションしていた場合もあるけれど、いくらシュミレーションしていても実際その時が来るのは怖い。それは平穏なオフィスに変化の扉を開き、私は好むと好まざるとにかかわらずそれに巻き込まれて行くのだから。



き、いつかはこの日 が来るとは思っていいかはこの日 が来るの、いっまでいいっまでいいで、来なけれている。 はいたので、不受けは4年前にたる大阪に異動している。 が戻れている。 がよった。なりますしてののようになりたてのる。 はなりたてのる。

がいない私を叱咤激

この間ついにYさ

んからその言葉を聞

赤目四十八滝で

励し、上からの納得のいかない要求をどうしようもなく 受けざるえない時には一緒に憤ってくれた。いつも周り を明るくしてくれる、とても聡明な人。

彼女の新しい職場は大阪からずいぶん離れており、ロシア語を生かして仕事ができる場所ではあるが、彼女の専門とは少し違っているようにも思えた。ただ自身の将来を考えた時、このままの状態でいるよりも、変化していくことを望んだのだろう。彼女のその選択に対して、ともに喜び、前途を祝福したい。

中島みゆきの歌に「ファイト!」という歌がある。それを初めて聞いたのは中学の頃。その時は歌詞の内容に実感の湧かない歌だったが、今は独自の解釈ではあるが、それなりの実感を伴う歌詞ではある。そういえば「ファイト!」っていうのは単なるエールではなくて「闘え!」という意味だと、解説に書いてあった。変化の扉を開けば厳しい現実が現れるかもしれない。それでも自分を持ってしなやかに生きるすべての人に。

ファイト!

闘う君の歌を

闘わないやつらが笑うだろう

ファイト!

冷たい水の中を

震えながらのぼっていけ

2015年がよい年でありますように。

つながっているということ

岡本 健裕(JIC東京)

みなさんこんにちは。ロシアのことなら誰よりも詳しい岡本です。嘘です。でも、いかにもそんなそぶりで、お客様に応対しているのは本当です。営業上、その方が都合がいいもので。そんなことを正直に書いてしまっていいのか。いいんです。JICインフォメーションの読者は皆様、ただ者ではない。この冊子を手にしている方には、私のハッタリくらいはどうせばれています。だから、いいのです。

こんなふうに気が大きくなっている時、自分はどこまでも歩いて行けるような気がすることがあります。例えばある朝、私は JIC 最寄りの四谷三丁目駅を出て、会社をサボって歩き続けることにしました(あくまで、例えばです)。すると、下関くらいまでの道中ならまあ、現実のこととして想像ができるわけです。3週間くらいかかるな、とか、あの辺でひと眠りしよう、とか。

この思考実験をモスクワでやると大変なことになります。どこまでも歩いていけるからです。もちろん無限には歩けませんが、例えばウラジオストクへなら、徒歩でもいつかはたどり着けると、私達は知っています。だから、ちょっととんでもない広さを自由に想像して楽しむことができるわけです。

思うに、これこそが地政学の源点です。自分はどこまで歩いて行けるのか、という問いに対して、どんな想像が及ぶかは人それぞれでしょうが、国家だとか民族を形成する集団の内輪どうしでは、だいたい似通っているはずなのです。日本人なら、東京から名古屋へは歩いて行けても、沖縄まで歩いて行けるなどと本気で思う人は誰もいないでしょう。このように島国はわかりやすい。

どこか異国のことを理解するには、この感覚を現地の 人々と自然に共有できることが不可欠だと思うのです。 これは地理の知識の問題ではないし、長距離の徒歩に耐 える体力の問題でもありません。そこで生活したことが あるかという、経験の問題です。

ユダヤ人にとってはこの感覚はどんなものか、アルメニア人だったらどうか、と考えた時、エルサレムやエレヴァンで生活してみたらわかるでしょうか。うーん、これはひょっとするとその民族に生まれない限り永遠にわからないんじゃないかとも思えます。では、ウクライナ人だったら。仮に私が今キエフにいたら、どこまで歩いていける気がするでしょうか。答えがどうであれ、その感覚はきっと今のウクライナの人々と自然に共有しているとは言えなくて、私は孤独なのではないかしら。



Я шагаю по Москве (私はモスクワを歩く) という言葉があります。と言うかこれは、ソ連映画史上指折りの名作のタイトルなので、得意げに紹介するのもおこがましいですが、そのクライマックスで主人公のコーリャが地下鉄の駅のエスカレーターを上りながら口ずさむ歌はこんなです。

Ая иду шагаю по Москве(僕はモスクワを歩く) Ия пройти ещё смогу (もっと僕は、歩いて行けるのさ) Солёный Тихий океан(しょっぱい太平洋)

И тундру, и тайгу. (ツンドラへも、タイガへも) 私はロシアを第二の母国だと言ってはばからない人

間ですが、それはいつでもコーリャの歌詞の内容とほとんどぴったりに、モスクワを起点に歩き始めることができるからです。私が、つたない留学経験で得た一生モノの収穫です。でも、キエフを起点に歩くことは、今の私にはできません。

昨年から、中澤英彦先生のもとでウクライナ語の勉強を始めました。一流の先生の丁寧な手ほどきで、私は今やウクライナ語をすらすらと使いこなしているはずでしたが、励みの足りない門下生であるばかりに実態は何とも面目ないことになっています。

先生は決してそのような教授法を採用なさらないことだけは断じて言明しておきますが、語学を習得させる上で効果的なやり方は、恐怖を用いることだそうです。例えば、ちょっとでも間違えたら電気ショックを与える、などは絶大な威力があるらしく、誰もがごく短期間でペラペラになるのだとか。(念を押しますが、あくまで例え話です。)

そこまで非人道的な方法に手を染めなくても、留学をすると、初めの3ヶ月くらいは言葉ができないことに冗談でなく命の危険を覚えるので、たいていの人が目覚ましい上達をします。そしてある程度の期間をすぎると停滞してしまう、というのもよくある話です。少々怪しげな言葉を操っていても、この程度なら死なない、という手の抜き加減がなんとなくわかる頃だからでしょうか。

学びのエネルギーは強烈なギャップを埋めることで結構消費されてしまうのです。

ちょうどウクライナ語を学び始めたその頃、ある大手の就職・進学系ポータルサイトが JIC に営業に来ました。聞けば、「グローバル特集」と銘打って、留学エージェントや大学に自社サイトへの掲載を呼びかけているところだといいます。

グローバルという言葉も使いようですが、しかし地球の一体化は、長期的にはどう考えても留学の妨げになるわけです。地球上どこへ行っても同じルールで働くことができて、同じ言葉が通じたらすばらしい。そうしてみんな同じ価値観を共有する「地球人」になれたら一丁上がりで、これで留学は必要なくなりますね。ばんざい。

そんなわけでサイト掲載の話は丁重にお断りしました。先方の掲載料がゼロ2つほど少なければ載せてもらったような気もしますが、やっぱり気のせいです。悔しくなんかないです。(涙目)

グローバリズムを旗印に世界中のギャップを埋める 運動に手を貸すならば、留学事業の将来を先回りして食 いつぶしている自覚が必要です。もちろん例の大手ポー タルサイトさんは、それが焼畑農法であると承知でやっ ているでしょう。留学の森が燃え尽きたら、きっと別の 森に火をつけて煽るつもりです。

でも安心してください。地球はある程度一体化しても、すべての壁がなくなることはありません。磁石に N 極 S 極があるように、狛犬に阿行と吽行がいるように、世界は単極になるはずがないのです。少なくとも、ロシアがあるうちは。ロシアは、世界に電位差を発生させ続ける発電機(ディナーモ)です。電極同士を直結させると刺激的な現象が起きますが、平和な日常には絶縁も大切です

ゴルバチョフ氏がロシア新聞のインタビュー記事で「私はあらゆる壁に反対(Я против любых стен)」と言いました(PΓ 2014.10.16)。ソ連崩壊の引き金を意図せずに引いた彼らしい考えです。ロシアは世界中にユートピア幻想を与え、それを自らぶち壊して回る奇妙な存在です。かつてスターリンは全球的ユートピア指向にトロツキズムというレッテルを貼って葬り、ソ連を世界の一極にとどめようとしました。彼もまた矛盾に満ちた人物ですが、自身はグルジア人でありながら、ロシアがその一極の正体であると見出したあたりは、真骨頂だと思います。そして最近、アメリカの諜報機関に一泡吹かせたスノーデン氏は、ロシアが匿うことになりました。ロシア以外、一体どこがこの役目を引き受けられるでしょうか。

人類が、その気になれば地球を一周できるくらいの文明を手に入れ、地平線の向こうがどうなっているのかだ

いたい知り尽くしてしまったとき、それまで世界の果てと呼ばれた未知の何かが担っていた役割を、別の何かが取って代わったはずです。自然科学的には、それは宇宙空間だったり、素粒子の世界だったりしますが、社会科学的には、それはロシアです。

ロシアのない世界なんてありえない。だからあえて言いましょう、ロシア的な世界と、非ロシア世界の間には、壁があるべきです。すると誰もが、どちら側にいるべきかを、決めねばなりません。両世界を一体化させる試みは理想でなくて火遊びです。本気でのめり込んだら代償を払うでしょう。争いと苦しみは乗り越えられても、人は悲しみには無力です。

世の中はつながっています。つながっているからこそ、 壁は、時に切実に必要なのです。国家間だけではありま せん。家族間も友人どうしも、およそ愛でつながってい るところならばきっと、どこでも。

希望と再生の神社

モロゾフ・デニス(JIC 東京)

明けましておめでとうございます!

おかげさまで昨年も様々な場所を訪ねて、いろんな人 に出会いました。中でも、最も印象に残ったのは、仙台 市郊外のとある神社の宮司さんとの出会いです。

インバウンド部の研修で訪れた出羽三山(月山・羽黒山・湯殿山)。その最後に山形から仙台まで足を延ばして、神社巡りをしました。道案内して頂いた仙台在住の渡辺さんは先頭の車に乗り、後についた我々には出来るだけぴったりついて来るように指示しました。その理由は、「カーナビはまったく役に立たないから」とのことでした。不思議に思った僕は目的地の「八重垣神社」をカーナビで検索しましたが、ちゃんと表示されたのでなおさら渡辺さんの指示が腑に落ちませんでした。しかし、目的地に近付くにつれ、その理由がようやく分かってきました。カーナビは街中の路を映し出していたのですが、我々が走っていた場所には街なんてありません。というより、何もありませんでした。大震災の津波に洗われた、どことなく冷たくて、なんとなく怖い、寒々とした土しかなかったのです。

そのだだっ広い野原の中、先頭車が停止し、我々も降りました。ピカピカの鳥居、周りの雰囲気に似合わない派手な黄色の水タンク、その先には粗末なプレハブが見え、さらに進むと「神社」が見えました。それは、僕が写真で見た 200 余年前に建てられた立派な社ではなく、小さくて無防備な祠でした。

プレハブの前には小柄で、周りの雰囲気にはまったく



震災前の八重垣神社



震災後の八重垣神社

似合わない、生き生きとした表情を浮かべた女性が我々を待ちかまえていました。彼女の名前は藤波祥子さん。 八重垣神社のたった一人の宮司です。

隙間だらけのプレハブの中、藤波さんが我々に語ったのは神社が津波に流された時の「絶望」の話ではなく、神社の再建がきっかけで、地域の人々の心の中に芽生えた「希望」の話でした。

心の拠り所を失い、泣くことすらできなくなってしまった人々の中には、時に藤波さんに向かって絶望的な言葉を浴びせた人もいた。「こんなにむごい事を神様はなんで止めなかったのか。神も仏も、存在しない!」。

しかし、気が付いたら、一般人立ち入り禁止令が出ていたにも関わらず、人々は神社のあった場所に出入りしはじめ、がれきの山の片づけを手伝っていた。中には、社が建っていた場所に花を献じ、手を合わせて、「私も家が流されたけど、神様も家を流されてかわいそうだから、花を持ってきました」という人もいた。森のない神社は神社ではないので、ボランティアと力を合わせ、3,300本の木を植えた時、たくさんの人がそれを手伝ってくれた。避難先が異なり、離れ離れになった若者たちは、神社の祭りが再開されると聞きつけて、親に頼み込んで連れてきてもらい、再会を喜び、久しぶりに心から笑いあった、などなど。

淡々と話し続ける藤波さんの言葉から、神社再建の取り組みがこの地域の人たちの絆を生み出していった様子が、まるで映像のように目の前に浮かんでは消え、そしてまた浮かんできました。

神社の再建は人々の心の再建につながり、社の森の再生は希望の再生を呼んだのです。藤波さんの様々な話は 僕にはそのように聞こえました。

藤波さんの記事をぜひとも皆さんに紹介したいと思います。読んでください。元気が出ます。

http://eikojuku.seesaa.net/article/308593888.html

宮古島とロシア、そして祖父のこと

神保 泰興 (JIC 東京)

あけましておめでとうございます。

昨年、両親・妻子をはじめ一族をあげて、宮古島に行ってきました。今回の旅には大きな目的がありました。 私の亡き祖父、堀口吉造は、先の戦争の際、当時住んでいた旧満州の牡丹江で徴兵されました。所属した第 60 旅団・独立歩兵第 399 大隊は、やがて沖縄方面に配置され、1945 年 5 月 10 日に祖父は宮古島で戦死しまし



た。それから間もなく 70 年、息子である私の父が、 彼の地を訪れたいとずっ と願っていたからです。

戦死から半年後、秋田 に疎開していた祖母の元 には戦死公報とともに、 空の骨壺が届けられまし た。遺骨はおそらく宮古

島のどこかに葬られていると推察され、墓参の意味も込めての訪問でした。夫を亡くし、女手ひとつで父を育て上げた祖母は、齢94歳にして心身健康なのですが、さすがに足腰が不安なため、同行できませんでした。

私は、祖母から、亡き夫である祖父の話を何度となく 聞かされていました。曰く、進取の気性に富む性格で、 当時は珍しかったロシア語を学んでいたこと、北の新天 地にあこがれ、満蒙開拓移民に志願し、祖母と共に海を 越えたこと、そこで生まれた娘(父の姉・引き揚げ前に 亡くなった)と、生後半年に満たない父を置いて出征し、 そして、帰らぬ人となったこと・・・。話を聞くにつれ、 私自身にも、その祖父の血が流れていることを感じない わけにいきませんでした。

那覇で飛行機を乗り継ぎ、宮古島に降り立ちました。 空港でレンタカーを借り、祖父の足跡を探して島を巡り ました。海はどこまでも青く、空はどこまでも澄んでい ました。きっと祖父も、70 年前に、この空を見上げ、 海を見つめながら、今回連れている私の子らと、ちょう ど同じ年恰好の子供たちのことを思い出していたこと でしょう。

宮古島は、沖縄本島のように米軍の上陸はありませんでしたが、記録によると、ちょうど 1945 年の 5 月上旬に、連合軍であるイギリス艦隊による激しい艦砲射撃が



宮古島に浴びせられていたようです。祖父は、その犠牲になったのか、あるいは、食糧も医薬品もない中、飢えやマラリアなどに勝てなかったのか、そのどれかだと思われます。島内、平良の街を見下ろす丘に、豊旗の塔という名の納骨堂がありました。ここに、宮古島で戦死した将兵のほとんどの遺骨が納められているそうです。祖父の遺骨も、おそらくここに眠っているだろうと思われ、献花・焼香し、手を合わせました。訪れる人もまばらのようで、周辺は雑草が生い茂ったままになっていました。戦争の記憶は忘れ去られつつあるようでした。

ところで、南洋に浮かぶこの宮古島に、思いがけず、ロシアとの深い縁がありました。島のメインストリートからそう遠くないところに、「ネフスキー通り」と呼ばれる、長さ約90メートルの石畳の坂道があるのです。サンクトペテルブルクのメインストリートと同名ですが、実は、ここ宮古島に貴重な足跡をしるした、ロシア出身の民俗学者ニコライ・ネフスキーを記念してつけられた名前です。通りの先端には、「宮古島研究の先駆者ニコライ・A・ネフスキーの碑」もあります。彼は、現在の大阪大学や京都大学で、ロシア語の教鞭をとる傍ら、1922年に初めて宮古島を訪れて以来、3回にわたって、島の各地を回り、方言の収集と民俗学的な調査を行いました。その学術研究の成果は、「宮古島の民俗学的研究」として出版されました。

ネフスキーは 1929 年に帰国し、サンクトペテルブル ク大学などで研究をつづけましたが、1937 年に無実の 罪により逮捕され、ほどなく銃殺されました。スターリンによる粛清の犠牲となったのです。北の新天地に憧れ、ロシア語を学んでいた祖父は、自身の終焉の地になったこの島と、ロシアとの不思議な縁を見出す機会はあったのでしょうか。今では知る由もありませんが、こうして私がロシアと日本をつなぐ仕事をすることで、祖父がかなえられなかった夢を、自分が代わりに果たしているようにも思え、祖父の冥福と子らの世代までの平和を祈らずにはいられませんでした。

2015年 催し物案内

日口友好交流キルト展

期間;1月24日~2月24日

会場:河口湖オルゴールの森美術館

主催;在日ロシア連邦大使館

日本ロシア協会 TEL; 03-5797-7081

~日本とハバロフスク、日露音楽交流の 10 年~

ウラディーミル・ブードニコフ ピアノ・リサイタル 谷本 潤 ヴァイオリン・リサイタル

日時;5月2日(土)14:00 ピアノ・リサイタル 17:30 ヴァイオリン・リサイタル

会場;音楽の友ホール(新宿区神楽坂) チケット;各 2000 円(通し券 3000 円)

主催:日本ハバロフスク音楽家交流委員会

TEL: 042-383-1333

スタニスラフスキー&ネミロヴィチ=ダンチェンコ記念

国立モスクワ音楽劇場バレエ

演目:エスメラルダ(全3幕)

日時;5月20日(水)13:30-16:30

18:30 - 21:30

5月21日(木)13:30-16:30

演目:白鳥の湖(全4幕)

日時;5月23日(土)12:00-15:30

17:30 - 21:00

5月24日(日)12:00-15:30

チケット; S 席 14000 円、A 席 11000 円、B 席 9000 円など

2演目セットS席 25000円(200 セット限定)

芸術監督;イーゴリ・ゼレンスキー

会場:東京文化会館大ホール(上野)

主催;キョードー東京 TEL; 0570-550-799

JICのロシア語留学・研修

26 年間の実績「だから、JIC のロシア語留学」

JIC ロシア語留学研修は、JIC 国際親善交流センターが日本で最初に旧ソ連・ロシアの諸大学と直接契約により開始した私費留学システムです。この 26 年間で JIC がロシアに送り出した留学生は長期・短期合わせて 2,800 名以上にのぼります。

安心の現地アフターケア

留学中はできる限り自分のことは自分でやっていただくのが語学力上達の道です。しかし、自分ではどうしても解決できない大学との交渉ごとや、緊急事態の際の連絡対応など、留学される皆様をバックアップするために、JIC では各受入機関と緊密な連絡体制を整えています。

ロシア語長期留学4月生・募集中



締切間近です 今すぐお申込みを

期間: 2015年4月1日より10ヶ月締切: 2015年1月16日(金)

モスクワ国立大学 922,500 円(授業料 10ヶ月) サンクト・ペテルプ・ルグ国立大学 823,000 円(授業料 10ヶ月) ウラジオストク極東連邦大学 508,200 円(授業料 10ヶ月)

※上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金及び 取得手数料などがかかります。

◆JIC ロシア留学デスク◆

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に応じます。 お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 9:30-18:00 03-3355-7294 大阪デスク 平日 9:30-16:00 06-6944-2341 ※事前にご予約ください

1~IFOFE

2014年 1月5日 新年営業開始

1月16日 長期留学4月出発生申込み締切

3月上旬 長期留学4月生 事前説明会

4月上旬 長期留学4月生 出発

4月上旬 JIC 東京 ロシア語講座 前期スタート!

4月上旬 JIC 大阪 ロシア語講座 前期スタート!

最新情報は JIC のホームページに随時掲載いたします。 その他のロシア情報も満載です!!